

授業科目名	初等教科教育法(社会)
科目番号	CB23511
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB 土3,4
担当教員	唐木 清志, 梅澤 真一, 山下 真一
授業概要	第一に、市民を育成し、社会のよき形成者を育てる為に行われてきた社会科教育の経緯をたどり、社会科教育の本質的課題を捉える。第二に、現在行われている初等社会科教育の現状を捉え、その実践について理解する。第三に、初等社会科教育の実践をどのように作っていけばよいのかを考え、教材開発、授業設計、実践、振り返りの過程を体験し、実践力を養う。
備考	小学校教諭一種免許状の取得希望者に限る 実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「2.教育学の基礎的体系的知識」「4.教育学的実践力」
授業の到達目標(学修成果)	初等社会科教育における実践的指導法を理解するとともに、実践力を身に付けることができるようになる。
授業計画	小学校社会科の授業づくりについて、理論から具体的な方法まで、幅広く学んでもらう。 第1回 学習指導要領と初等社会科 第2回 初等社会科の誕生とその後の変遷 第3回 児童の発達と初等社会科 第4回 同心円の拡大主義と初等社会科カリキュラム 第5回 初等社会科における学習指導計画の作り方 第6回 初等社会科における学習指導案の作り方 第7回 初等社会科における教材 第8回 初等社会科における学習指導法 第9回 新学習指導要領における初等社会科 第10回 新学習指導要領が求める社会科のこれから 第11回 中学年社会科の学習指導と実践例1:身近な地域 第12回 中学社会科の学習指導と実践例2:ごみ 第13回 高学年社会科の学習指導と実践例1:日本の国土 第14回 高学年社会科の指導法と実践例2:歴史 第15回 授業づくりと評価:中学年の場合 第16回 授業づくりと評価:高学年の場合 第17回 模擬授業1:3年生の場合 第18回 模擬授業2:4年生の場合 第19回 模擬授業3:5年生の場合 第20回 模擬授業4:6年生の場合
履修条件	小学校教諭免許の取得を目指していること。
成績評価方法	レポート(50%)と模擬授業の取り組み及び実践(50%)で総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	復習を行うこと。適宜、宿題を課す。

教材・参考文献・配付資料等	授業において資料を配布する。 1. 文部科学省, 『小学校学習指導要領解説社会編』(東洋館出版社、2018年)
オフィスアワー等(連絡先含む)	月曜日:15:00 - 18:00 唐木 清志 karaki at human.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	小学校教諭免許取得に向けて意欲的に学ぶこと。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	小学校, 社会科, 授業づくり, 学習指導, 評価